

ホラッ 6月の 屋外園が呼んでいますよ！！ 京都市青少年科学センター



紫陽花が美しい季節

アジサイは日本原産の花です。飾り花が美しいガクアジサイが原種です。イギリスに伝わり品種改良され花が手毬のように集まったハイドランジア（西洋アジサイ）がつけられました。この品種が大正期に逆輸入され、その後も改良が進み、毎年新品种が発表されています。

入梅の頃



6月、梅の実が熟す頃、天気がぐずつき雨続きになります。この時期の長雨を「梅雨」と呼びます。大地を潤す長雨は農耕に恵みをもたらし、水源が満たされます。日も長くなりいろいろな昆虫が見られるようになります。屋外園で探してみましょ。

フェイジョア（フトモモ科）

南米原産の果樹。ピンク色の花の中心に真っ赤なおしべとめしべが目立ちます。果実は甘くよい香りがします。

ハンゲショウ（ドクダミ科）

半夏生、つまり夏至から数えて11日目頃に葉の半分が白くなるからこの名が、また半化粧（半分白く化粧）の意味も・・・

ミソハギ（ミソハギ科）

湿地に見られます。和名は溝萩、または禊萩。紫色の花が穂状につく姿が萩の花に似ていますね。いろいろな昆虫が訪れます。観察してみよう。

キミガヨラン（リュウゼツラン科）

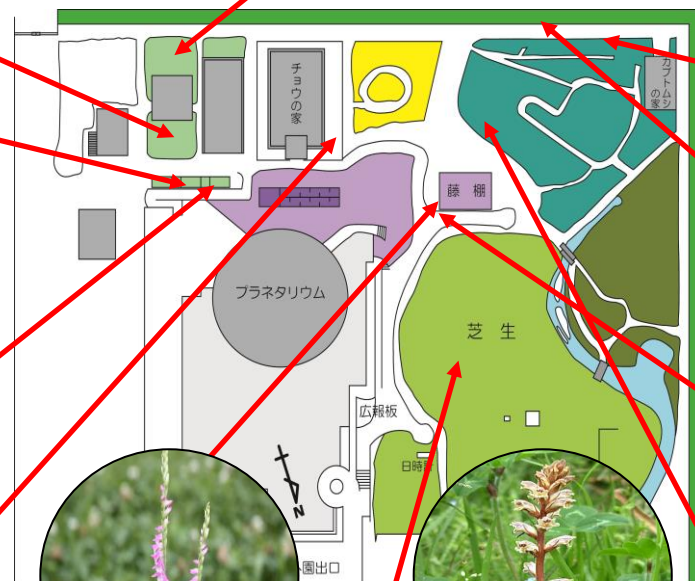
別名ユッカ。原産地は北米の砂漠地帯。釣り鐘形の白い花が数多く咲き続けます。

ハクチョウゲ（アカネ科）

中国や東南アジア原産の低木。白く可愛い花を咲かせています。斑入りの葉もあります。

ヒメジョオン（キク科）

道端などに普通に見られます。白い花が目立ちます。よく似たハルジオンの茎は中空ですが、ヒメジョオンの茎にはずいがつまっています。



ネジバナ（ラン科）

桃色の花をらせん状にねじれてつけるようすからこの名がつけられました。別名モジズリ。さて、ねじれは上から見て右巻き・左巻き？調べてみよう。

ヤセウツボ（ハマウツボ科）

北米原産の外来植物。シロツメクサの中に枯れ草色の茎を伸ばし、淡黄色の花を咲かせています。シロツメクサに寄生している寄生植物です。探してみよう。

オカトラノオ（サクラソウ科）

花がつく様子が虎の尾のように見えますね。オカは丘の意。湿地にはヌマトラノオが見られます。

クチナシ（アカネ科）

甘い香りを漂わせます。秋に橙色に熟す果実は染料や薬用に利用されます。

ホタルブクロ（キキョウ科）

この花の中にホタルを入れて遊ぶことからつけられた名です。英語では bellflower（鐘の花）と言います。花色は白と赤紫があります。

ウツボグサ（シソ科）

日当たりのよい山野に見られます。真夏に花穂が枯れたように茶色に変わります。そのため夏枯草とも呼ばれます。

ツユクサ・ムラサキツユクサ・ノハカタカラクサ（トキワツユクサとも呼ぶ）（ツユクサ科）
早朝、露をおびて咲くところからついた名です。古名は着草、花びらで衣を染めたことからついた名です。屋外園には草丈の高いムラサキツユクサ、白い花を咲かせるトキワツユクサ（南米原産の帰化植物）も見られます。

6月

花だより

京都市青少年科学センター



屋外園が
呼んでますよ!